

「総合的な学習の時間」を支援

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、10月24日（木）、小田原市に所在する酒匂（さかわ）中学校及び泉中学校が実施する「総合的な学習の時間」を支援した。

「総合的な学習の時間」は変化の激しい社会に対応して、自ら学び自ら考え主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てることをねらいとしたものである。

今回、酒匂（さかわ）中学校7名、泉中学校7名の計14名の参加者は、海上自衛隊横須賀地方総監部（神奈川県横須賀市）にて、海上自衛隊の任務と役割について説明を受けた後、曳船による湾内クルーズ体験や護衛艦「たかなみ」を見学し、実際に隊員が日頃食べている食事を体験喫食した。

学習終了後、参加者からは「自衛隊の役割について理解することができた」「食事が美味しかった」「ロープワークが難しかったけど楽しかった」など様々な感想が聞かれた。

小田原地域事務所は「今後もこのような機会を通じて多くの学生に対して、実際に自衛隊を見て触れてもらうとともに、自衛官との交流を通じて自衛隊の活動について理解してもらい自衛隊の魅力伝えたい」としている。



艦艇見学内でのロープワーク体験



隊員食堂での食事風景

高校生対象の進路相談会（横浜市） 「海上自衛隊の護衛艦に乗ってみたい！」



自衛隊ブースで広報官の説明に聞き入る来場者

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）隊川は、10月29日（火）横浜市西区の新都心ホールで実施された高校生対象の進路相談会にブースを出展した。開始時は小雨交じりの天気ではあったが、説明会会場には合わせて40を超える大学や専門学校及び企業等が集まり、多くの高校生が会場に訪れ、受付を済ませるとお目当てのブースに向った。各ブースでは高校卒業後の進学及び就職のために、それぞれの担当者の説明に一生懸命に耳を傾けている姿が印象的だった。神奈川県地方協力本部のブースにも高校生や親子連れが訪れ、最初はやや硬い表情だった来場者も説明が進むにつれ次第に顔もほころび話に聞き入っていた。参加した高校生からは「海上自衛隊の護衛艦に乗ってみたいです」などと話し、広報官からイベントの予定を確認するなど、自衛隊が好きで興味を持っていることがうかがえた。

横浜中央募集案内所は、「このような説明会をきっかけに、対象者をイベント等に積極的に案内し、自衛隊に関心を持ってもらい今後の募集成果につないでいきたい」としている。